

News Release

2020年4月20日
 一般社団法人 日本電機工業会 (JEMA)

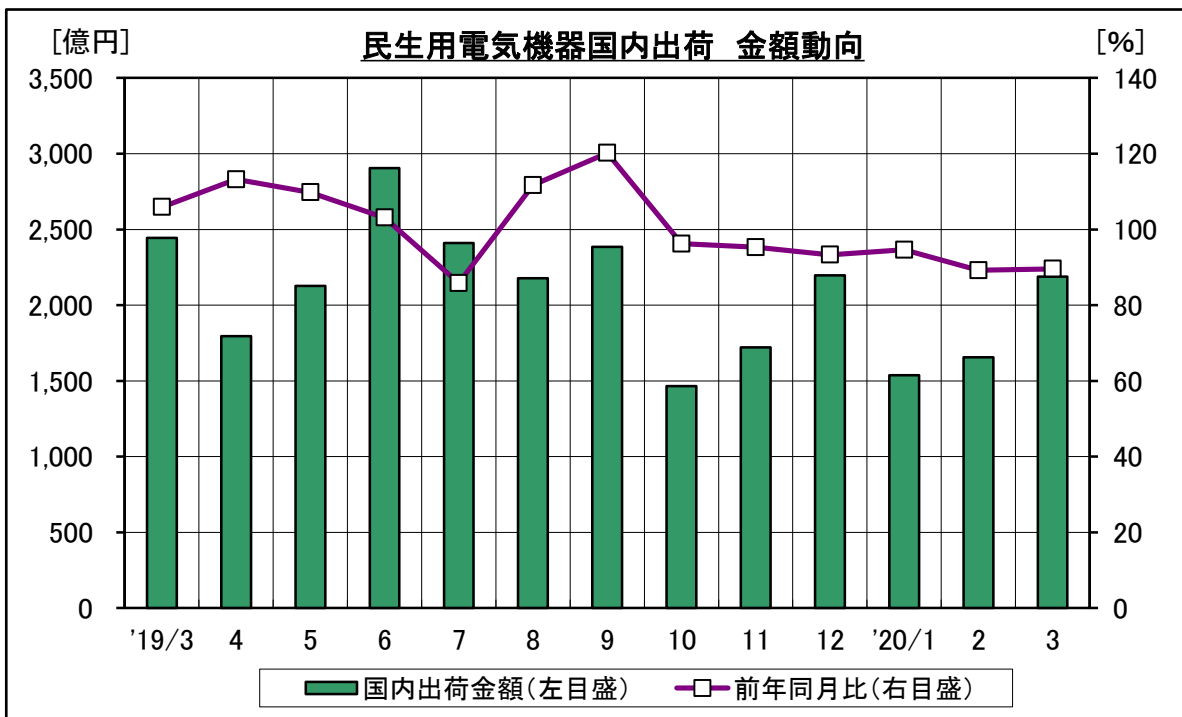
民生用電気機器 2020年3月度ならびに2019年度国内出荷実績

【概況】

民生用電気機器の2020年3月度の国内出荷金額は、2,189億円、前年同月比(以下前年比と略記)89.6%と6カ月連続のマイナスとなった。

製品別の国内出荷金額を見ると、ルームエアコンは735億円、前年比91.2%と6カ月連続のマイナス、電気冷蔵庫は419億円、同86.5%と2カ月連続のマイナス、電気洗濯機は312億円、同79.7%と4カ月連続のマイナスとなった。

2019年度は、2兆4,567億円、前年度比99.5%となり5年ぶりのマイナスとなった。昨年7月は天候不順の影響を受け落ち込んだものの、梅雨明けからの猛暑や消費税増税に伴う需要増もあり、民生用電気機器全体では高水準を記録した昨年度(2018年度)に次ぐ水準となった。



単位: 金額 億円、前年比 %

年月	'19/3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	'20/1	2	3	2019年度
金額	2,444	1,795	2,127	2,905	2,411	2,178	2,385	1,465	1,723	2,197	1,538	1,655	2,189	24,567
前年比	105.9	113.2	109.8	103.1	85.8	111.7	120.2	96.2	95.3	93.3	94.6	89.2	89.6	99.5

【 2020年3月度ならびに2019年度 主要製品の国内出荷（数量） 】

● ルームエアコン

- ・ 2020年3月は、905千台、前年比90.6%となり、6カ月連続のマイナスとなった。
- ・ 2019年度は、9,573千台、前年度比97.5%となり、5年ぶりのマイナスとなった。昨夏は天候不順の影響があったものの、梅雨明けからの猛暑や消費税増税前の需要増もあり、過去最高を記録した2018年度に次ぐ出荷数量となった。

● 電気冷蔵庫

- ・ 2020年3月は、414千台、前年比88.7%となり、2カ月連続のマイナスとなった。
- ・ 2019年度は、3,870千台、前年度比97.9%となり、5年ぶりのマイナスとなった。容量別構成比をみると、大容量クラスへのシフトは鈍化している。

● 電気洗濯機

- ・ 2020年3月は、445千台、前年比78.5%となり、4カ月連続のマイナスとなった。
- ・ 2019年度は、4,638千台、前年度比99.8%となり、4年ぶりのマイナスとなった。全体の約9割強を占める全自動洗濯機は、まとめ洗いや大物洗いへのニーズが高まり、引き続き大容量へとシフトしている。

● 電気掃除機

- ・ 2020年3月は、458千台、前年比111.0%となり、6カ月ぶりのプラスとなった。
- ・ 2019年度は、4,369千台、前年度比91.3%となり、4年連続のマイナスとなった。「縦形（スティック形）」は、コードレス化、高機能化、軽量化など、利便性の向上が進んでおり、構成比も拡大している。

● 電子レンジ

- ・ 2020年3月は、369千台、前年比87.9%となり、2カ月ぶりのマイナスとなった。
- ・ 2019年度は、3,323千台、前年度比97.6%となり、2年連続のマイナスとなった。全体の約6割を占める「オープンレンジ」は減少したが、少人数・高齢者世帯向けの「単機能レンジ」が増加している。

● ジャー炊飯器

- ・ 2020年3月は、583千台、前年比102.6%となり、3カ月連続のプラスとなった。
- ・ 2019年度は、5,617千台、前年度比103.2%となり、2年連続のプラスとなった。ご飯の食味や食感を追及した高機能製品の市場トレンドは継続している。

● IHクッキングヒーター

- ・ 2020年3月は、71千台、前年比95.0%となり、2カ月連続のマイナスとなった。
- ・ 2019年度は、787千台、前年度比102.1%となり、5年連続のプラスとなった。清掃性や調理機能の向上も進み、堅調に推移している。

以 上

※弊会は、新型コロナウイルス感染症対策の一環として当面の間、職員の在宅勤務を実施しております。これに伴い、問い合わせ等に対応することができません。ご利用の皆さまにはご不便をおかけいたしますが、何卒ご了承の程、よろしくお願いいたします。